

# 中学校卒業後の さまざまな進路

専修学校  
一般課程  
・  
各種学校

入学資格  
等なし

中学卒業後の多様な  
学びのニーズに応える  
もう1つの学校

専門学校  
(専修学校専門課程)

修業年限  
3年以上卒業者

## 高等専修学校

(専修学校高等課程)

高等専修学校は中学校卒業後の進路先の一つです。  
様々な職業に必要な知識を身につける  
専門科目を中心に勉強します。

卒業後は…

中学校

## 高等専修学校（専修学校高等課程）とは？

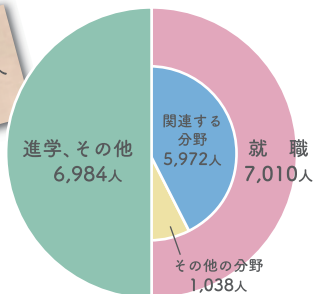
Upper Secondary Specialized Training School (Specialized Training College, Upper Secondary Course)

高等専修学校は、昭和51年に新しい学校制度としてつくられた専修学校のうち、中学校卒業者を対象とした課程です。社会に出てすぐに役立つ実践的な職業教育を行い、いろいろな分野でスペシャリストを養成しています。高等学校と並ぶ正規の後期中等教育機関として、高等学校の枠に収まらない多様な教育を行っており、現在約490校で約3万8000人が学んでいます。

特徴

- 仕事に直に結びつく実践重視のカリキュラムを展開（高等学校には真似できない、実学に特化した教育）。
- 多様な学びニーズをもつ、多様な生徒を受入れ。
- 学んだ知識・技能を活かした就職、さらに深める進学など、幅広い進路へのステップに（高等学校卒と同様、大学入学資格を得られる学校も多数）。

卒業後の進路状況  
平成21年度卒業者 13,994人  
(平成22年度学校基本調査)



大学院・専門職大学院

大学・短期大学

高等専門学校

5年制（工業関連分野）  
5年6ヶ月制（商船分野）

高等学校

定時制



通信制

全日制

大学入学資格  
付与校卒業生

技能連携※

## 高等専修学校と高等学校の違いとは？

	修業年限	種類	教科・科目
 <b>高等専修学校</b>	<b>1年以上</b> （目指す資格、学ぶ内容などによって異なります） ※大学入学資格付与校は、3年以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業後に大学入学資格が得られる「大学入学資格付与校」</li> <li>高等学校とのダブルスクールで学べる「技能連携校」*</li> <li>その他、さまざまな学校</li> </ul>	それぞれの学校ごとに違いますが、一般的に、 <ul style="list-style-type: none"> <li>目指す職業分野の知識や技能を学ぶ専門科目が中心になります。</li> <li>授業は、座学だけでなく、実習・実技に多くの時間が割られます。</li> </ul> ※大学入学資格付与校では、卒業までに、普通科目も420時間以上学びます（卒業までの総授業時間数は、2590時間以上（普通科目を含む））。
 <b>高等学校</b>	<b>全日制</b> : 3年 <b>定時制・通信制</b> : 3年以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>主に普通教科を学ぶ「普通科」</li> <li>主に普通教科と1つの分野の専門教科を学ぶ「専門学科」</li> <li>普通教科と専門教科のさまざまな科目の中から選んで幅広く学ぶ「総合学科」</li> </ul>	<b>普通教科</b> ：国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、芸術、外国語、家庭、情報 ※普通科では、これらの教科を中心に、卒業までに74単位以上を習得します。 ※専門学科では、必修科目として、これらの教科から最低31単位を修得する必要があります。 <b>専門教科</b> ：農業、工業、商業、水産など ※専門学科では、卒業に必要な単位(74単位)のうち、専門教科から25単位以上を修得します。

※技能連携制度は、高等学校の定時制又は通信制の課程に在学する生徒が、技能教育のための一定の要件を備えた施設で教育を受けた場合に、その学習を、高等学校における科目の履修とみなす制度です。現在、高等専修学校の半数近く(44%)が、高等学校と技能連携を行っており、これらの学校では、高等専修学校と高等学校のカリキュラムを、同時に効率的に学び、卒業時には2つの学校の卒業資格を得られます。